

～きびしく 高く 美しく～

島根県立安来高等学校 全日制 普通科



Founded in 1901

「3つの方針」

目指す（期待される）学校像

120年の歴史と伝統の上に、地域の期待を担う安来市唯一の普通科高校として

- ・生まれ育った地域にある高校で、多様な進路実現を可能にする学校
- ・学習と部活動や生徒会活動など諸活動で得た達成感・充実感が反映され互いに相乗効果を持って質の高い文武両立を目指す学校
- ・地域と連携した活動を取り入れ、地域に愛される学校

育てたい生徒像 生徒育成方針（グラデュエーション・ポリシー）

教育目標「きびしく 高く 美しく」のもと

きびしく自らを律し 目標と信念を高く持ち 美しく豊かに生きる

時代の青年の育成を目指す

- 1 きびしく ～ 態度 ～ 自分と向き合う力**
よりよい（地域）社会の創り手として、自分自身を律し責任ある行動がとれる生徒
- 2 高く ～ スキル ～ 課題と向き合う力**
新たな価値の創造のために高い理想を持ちその実現に向けて行動し学び（探究）し続けることのできる生徒
- 3 美しく ～ 価値 ～ 他者と向き合う力**
地域への愛着を基盤に多様な価値観を認め合う共生社会を生き抜くことができる生徒

生徒をどう育てるか 教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

全ての教育活動を通じて以下の実践を図る

- ・確かな基礎学力を培い、主体的な学習者を育てる授業・行事の実践
- ・生涯を見通したキャリアデザイン力を育み、レジリエンスを醸成する活動の実践
*しなやかな強さ・復元力
- ・地域や社会での活動等を通して、他者尊重・自己肯定感・有用感の醸成を図る活動の実践

どんな生徒を待っているか 生徒募集方針（アドミッション・ポリシー）

「きびしく・高く・美しく」を追求できる生徒

- ・自ら学ぶ意欲と姿勢を持ち努力し続けることができる生徒
- ・学業と諸活動に積極的に取り組み文武両立を目指そうとする生徒
- ・他者と協調して豊かな情操を身につけようとする生徒

情報科学高等学校グランドデザイン

1 スクール・ミッション

I 校訓 《明朗・気概・思いやり》

II 教育目標（本校の使命）

普通教育ならびに情報・ビジネスに関する専門教育を施し、健康で、心豊かな人間性を育成する

- ① 地域を担う、情報・ビジネスに関する将来のスペシャリストの育成【専門性の育成】
- ② 社会人としての規範意識や倫理観を身に付けた感性豊かな人間の育成【人間力の育成】

2 スクール・ポリシー

[グラデュエーション・ポリシー]

I 目指す生徒像

～地域との協働を通じたデジタルイノベーション創出人材の育成～

II 情報科学高校生に身につけさせたい資質・能力

- ①地域の課題や動向に関心を持ち、主体的に取り組む能力（主体性）
 - ・自己変革につながる目標設定力
 - ・「なぜ？」を深掘りする探究力
- ②他者と円滑な人間関係を構築する能力・協働する能力（協働性）
 - ・社会で通用する自己表現力・発信力
 - ・他者の意見や価値観を受容する力
 - ・チームで協働し実践する力
- ③デジタルテクノロジーを活用し新たな価値を創造する能力（創造性）
 - ・新たな価値を創造しようとする気概
 - ・課題解決のためにITを活用する力

[カリキュラム・ポリシー]

III 教育課程の編成及び実施に関する方針

- ①普通教育ならびに情報・ビジネスに関する専門教育を実施する。
- ②学校設定教科「地域探究」を通じて、以下の学習を実施する。
 - ・地域の魅力や課題を学ぶ
 - ・学びと課題を結びつけ解決する学習を実施する
 - ・自分が取り組むべきと認識した課題解決型学習の実施
- ③教科・科目や分野を超えた教育の展開
 - ・持続的な授業改善
 - ・複数教科の連携による教科横断的な授業展開
 - ・全校体制での探究型学習の実施

[アドミッション・ポリシー]

IV 入学者の受け入れに関する方針

①求める生徒像

- ・中学校段階までの基礎学力を身につけた生徒
- ・情報・ビジネスに関する学習に対して興味・関心がある生徒
- ・地域から学び、地域に貢献しようとする意欲を持った生徒

※推薦入試では、「特技推薦」としてプログラミングやパソコンに関する知識・技能の資格や各種コンクール等において成果を上げた者又は同等の能力を持つ者を求める。

松江北高等学校スクール・ポリシー

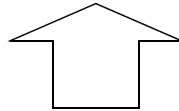
島根県立松江北高等学校

校訓：質実剛健、文武両道

スクール・ポリシー：「世界の人たれ」

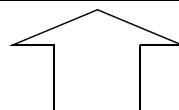
【育てる生徒像】（グラデュエーション・ポリシー）

- 1 道徳性、社会性を備え、豊かな人間関係を築くことができる生徒（人間関係構築力）
- 2 知的好奇心のもとに、自ら考え、学び続けることができる生徒（知的探究力）
- 3 学習をはじめとして様々な活動に取り組み、将来の可能性を広げることができる生徒（自己開拓力）
- 4 社会で活躍することができる生徒（社会貢献力）



【カリキュラムの基本方針】（カリキュラム・ポリシー）

- 1 普通科・理数科の2学科体制
普通科における習熟度別クラス編成の採用
(文系コース、理系コース以外の特別なコースはつくらない)
- 2 高度な学びへ向かう知的好奇心を高める授業の推進
大学等への進学を意識した教育課程
「総合的な探究の時間」の活性化
授業第一の実践・学び方を学ぶ授業
- 3 生徒の主体性及び他者と協働する力等(非認知能力)を育む活動の推進
学校行事の充実
生徒会活動の活性化
部活動の奨励
科学オリンピック等への参加奨励
ボランティア活動の奨励
- 4 社会で活躍する人材育成プログラムの充実
社会人講話
世界の人たれ講演会
普通科2年津和野研修
普通科2年近畿研修
エンパワーメントプログラム
グローバルリーダー養成プログラム
- 5 特色ある理数科カリキュラムの構築
理数系科目を強化したカリキュラム
課題研究・高大連携
理数科1年隠岐島前研修
理数科2年関東地区研修



【求める生徒像】（アドミッション・ポリシー）

- 1 多様な価値観を認め、豊かな人間関係をつくる生徒
- 2 高い目標に向かって、自ら学ぶ意欲をもつ生徒
- 3 学習だけでなく、いろいろな活動に積極的に取り組む生徒
- 4 社会で活躍することを目指す生徒

松江南高等学校スクール・ポリシー

校訓

質実剛健	飾らず、たくましく
創造進取	常にチャレンジ&クリエイト
和敬共栄	認め合い、高め合う

【教育目標】

グローバル社会を生き抜き、その持続可能な発展に貢献する志の高い人材を育成する

【目指す学校像】

主体的・探究的な学びを推進し、地域の進学拠点校として信頼される学校

- ◇ 生徒に多様な学びや体験の機会を提供し、高いレベルの「学力・社会力・人間力」を育成する学校
- ◇ 授業改善、探究的な学びを推進し、生徒の挑戦と進路実現を支援する学校
- ◇ SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業、探究科学科始動、単位制導入などの改革に、進取の気概をもって取り組む学校
- ◇ 教職員が責任と誇りをもち、保護者、地域と共に「チーム南」で魅力化を進める学校

【育てたい生徒像】(グラデュエーション・ポリシー)

- ◇ 心身ともに自立し、知識・技能を習得・活用してより深い学びを主体的に実践する生徒
- ◇ 課題の解決や新たな価値の創造に、他者と切磋琢磨し協働して取り組む生徒
- ◇ 学びを通じて自らのフィールドを見出し、気概をもって挑戦する生徒

【本校の教育活動】(カリキュラム・ポリシー)

自立した学び・個別最適化した学び・多様な他者と協働する学び

～SSH事業を柱とする知の循環で一人ひとりのWILL(意志・未来)を拓く～

- ◇ 知る学び …教科の基礎的な知識・技能の確実な習得と、それらを自在に応用できる総合的かつ高い学力を育む
- ◇ 創る学び …SSH事業を活用した探究型学習と多様な教育プログラムにより、「新たな価値を創造する力」「学びを発展的に活用する力」を育む

育てたい力

- * 読解力 …情報を正しく読み取り、解釈し、理解する力
- * 思考力 …グローバルで幅広い視野と文理融合で柔軟に考える力
- * 主体性 …自らの意志で目標を決めて取り組む力

重点的な取組

- * SSH事業を柱とした探究学習の推進
- * 授業改善の推進 ～授業改善プロジェクト、ICT・学校図書館活用
- * 地域・大学等と連携した学びの広がり、積極的な発表・発信
- * 部活動・生徒会・地域活動等とおした人間力・社会力の育成
- * 安心して挑戦できる環境づくり ～人権感覚の醸成・教育相談と特別支援の充実

【求める生徒像】(アドミッション・ポリシー)

- ◇ 互いを認め、高め合って協働し、切磋琢磨しながら成長しようとする生徒
- ◇ 自らの在り方や生き方を探究し、主体的に学び、考え、行動する生徒
- ◇ 部活動や生徒会、地域の活動等に積極的に取り組み、勉学との両立に努力する生徒

松江東高等学校スクールポリシー

1. 育てたい生徒像(グラデュエーション・ポリシー)

- ・自分らしいライフデザインの実現をめざす生徒
- ・将来持続可能な社会を創造する「地域共創人」

2. 東高生が身につける力を育てる学び(カリキュラムポリシー)

(1) 人とつながって生きる力(多文化協働力)を身につける学び

～さまざまな人と協働する基礎力を育てる～

＜多様な人とつながる力を育てる教育活動＞

○自他の人権を尊重する

- ・自分の個性を知り、自己の在り方を考え、自己を伸ばそうとする

○互いに支え合い、高め合う

- ・他者の発言や考え方を理解し、尊重したり、受容することができる
- ・自分の思いや考えを相手に伝わるように表現できる

- ① 全ての学習場面で生徒が安心して学べる集団になるよう指導する
- ② 部活動、生徒会活動、校外活動で積極的に活動し、互いに高め合う切磋琢磨する

(2) 自己の未来を切り開いていく力(主体的学習者としての力、探究的学習力)を育てる学び

～「問い」を生み出す挑戦～

＜生徒の「知」の獲得に対する内発的な動機付けを促す授業＞

○深く学ぶ

○選んで学ぶ

- ① 基礎学力を充実させ、自らの進路実現を可能にする学力をつける
少人数指導、ETC、学力テスト、模擬試験、土曜講座
- ② 主体的・対話的で深い学びの推進
 - ・「学びのタネ」を見つけ、主体的に学習し行動する。
 - ・ペア学習、グループ学習等の授業形式の中で他の生徒の考え、解き方を学びあい、生徒同士で教え合い、より深い学びを実現する。
- ③ 教科の授業や地域課題探究学習で、常に物事の意義や本質を納得いくまで探る。
- ④ 先進的で多様な選択科目から主体的に科目選択してスキルを身につける
データサイエンス、プログラミング、EAST国際交流、EAST地域探究、芸術など

(3) 地域社会の「今」と「未来」に関わる力(地域共創力、社会的自立力)を育てる学び

～「未来」につながる「出会い」を創る～

＜生徒の人生の「ロールモデル」として魅力ある「大人」との出会いの創出＞

○自分の今と将来を考える

○地域の今と将来を考える

- ① 地域の大人に出会い、自分のライフデザインを考える
出会いの場…キャリア教育、東京研修、東高カフェ、地域課題探究学習
- ② 地域の大人と協働して地域課題探究学習に取り組み、地域の課題を深掘りし、地域の今と将来のためにできることを学ぶ。
共創する人々…島根大学、松江市、企業等

3. 求める生徒像(アドミッション・ポリシー)

自分の持つ可能性を広げるために、様々な活動に挑戦する志を持つ生徒

令和4年度スクールポリシー（3つの教育方針）

島根県立松江工業高等学校〔全日制課程〕

①生徒育成方針

「校訓：修道 創意」

『修道』自律自学の精神 『創意』新たなものに取り組む進取高邁な精神

「育てたい生徒像」

- 地域産業を担う工業のスペシャリスト
 - ・豊かな人間性を有する生徒
 - ・他者と協働し問題解決にあたることのできる生徒

「教育目標」

- 学力を育む
基礎学力の向上、ものづくり教育の推進、問題解決型学習の推進
- 社会力を育む
キャリア教育の推進、地域や産業界との連携・協働活動の推進、持続可能な体験活動の推進
- 人間力を育む
規律ある生活態度の育成、人権教育・インクルーシブ教育の推進、部活動の推進

②教育課程の編成・実施方針

- 学年の進行とともに、工業技術者として必要な基礎学力から高度な専門知識と技術が身につくよう、共通科目と専門科目をバランスよく編成・実施します。また、各学年で実習等の実技科目を配置することにより、技術者としての応用力・実践力を涵養します。
- 課題研究や地域交流活動等での探究活動を通して、自らの課題に主体的・協働的に取り組み、よりよい社会を実現しようとする態度を養います。
- ホームルーム活動や学校行事、部活動等を通して、自律的な態度と、相手を思いやる心を育てます。
- 学校評価、学校評議委員会、松工魅力化コンソーシアム、高校魅力化アンケート等により意見を聞き、改善を行います。

③生徒募集方針

「求める生徒像」

- ものづくり等の工業分野に興味・関心を持ち、何事にも努力を惜しまず確実にやり遂げることができる人
- 高校生活に明確な目標を持ち、学習をはじめ資格取得等にも意欲的に取り組むことができる人

「中学校でつけてほしい力」

- 基礎学力、特に理数系科目
- 基本的な生活習慣・意欲的な学習への取り組み
- 特別活動等、諸活動へ主体的に取り組む力

島根県立松江工業高等学校 [定時制課程] の3つの方針

① 生徒育成方針（グラデュエーション・ポリシー）

「育てたい生徒像」

社会とのつながり（就労）と、ものづくりの学びを通じて、自らライフプラン（人生設計）を描き、自己実現できる生徒

「教育目標と重点目標」

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| ○学力を育む | ○社会力を育む | ○人間力を育む |
| ・学習意欲の向上 | ・キャリア教育の推進 | ・基本的生活習慣の育成 |
| ・ものづくり教育の推進 | ・体験活動の推進 | ・支援体制の充実 |

② 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

- 勤労青年のみならず多様な生徒が学ぶ機会を提供するために、個々の生徒に丁寧に寄り添いながら、生徒の状況に応じた学習活動、生徒指導、教育相談、進路指導等が実践できる教育課程を編成・実施します。
- 教育課程の編成については、基礎的な知識・技能が習得できる科目を重点的に配置します。
- 授業においては、可能な範囲で複数の教員を配置し、きめ細やかな指導や学び直しの機会を提供し、高校生が身につけるべき資質・能力の確実な定着を図ります。
- 教え合い学び合う授業や様々な体験学習、課題研究等を通して、自らの課題に主体的・協働的に取り組み、その課題を解決しようとする力を育てます。
- 生徒一人一人の実態や学習ニーズに応じた教育活動の確実な実施を図るために、家庭・地域・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・ハローワーク・企業等との連携を行います。
- 松工魅力化コンソーシアム、学校関係者評価委員会、高校魅力化アンケート、キャリア・パスポート、高校生のための学びの基礎診断等により評価し、改善活動を行います。

③ 生徒募集方針（アドミッション・ポリシー）

「求める生徒像」

- 工業の内容に関心を持ち、ものづくりや資格取得に興味のある生徒
- 欠席や遅刻をしないという強い意志を持ち、体験的な学習や部活動を通して自分自身を高め、自らの生き方・在り方を考えようとする生徒
- 働きながら学ぶことに誇りをもてる、意欲のある生徒
- 学校のルールやマナーを守り、周囲の人々とよい人間関係を保ち、他人に対する思いやりのある生徒

「中学校でつけてほしい力」

- 基礎的な学力
- 基本的生活習慣

島根県立松江商業高等学校 スクール・ポリシー

1. 生徒育成方針（グラデュエーション・ポリシー）

本校では、商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な、以下の力を育成します。

- (1) 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- (2) ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

〈学科別生徒育成方針〉

【商業科】地域経済を活性化し、継続的に地域に貢献できる人材を育成する。

【情報処理科】ITの高度な専門性を備えた人材を育成する。

【国際ビジネス科】グローバルな視野を持ったビジネスリーダーを育成する。

2. 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

本校では、下記のような特色ある教育を提供します。

- (1) 「くくり募集」を実施し、1年次は全科共通の商業の基礎を学習します。2年次からは、それぞれの興味、関心や適性をもとに「商業科」、「情報処理科」、「国際ビジネス科」の3つの学科に分かれて学習します。
 - ① **商業科**：広く商業科目を学び、地域経済の発展を担う専門的な知識・技術を身につけ、興味関心に合わせ、幅広い進路選択に対応します。
 - ② **情報処理科**：高度な情報処理技術を学び、ITの急速な進化を遂げたビジネス社会で活躍するための実践力を身につけます。
 - ③ **国際ビジネス科**：簿記会計・英語の高度な知識・能力を身につけ、グローバル化が急速に進むビジネスの世界で活躍するために必要な実践的な力を身につけます。
- (2) 地域を理解し、地域・企業・大学等との協働によって、専門知識・技能を活用した実践力を身につけるために、地域に開かれた教育課程や教育活動を実践します。
 - ・課題研究
 - ・松商だんだんフェスタ
- (3) 学習意欲の向上と学習活動の理論的・体系的な理解を深めるために、資格検定取得を奨励し、目標達成に向け、粘り強く挑戦する機会を設けます。
 - ・全商検定試験1級合格3種目以上
 - ・外部検定資格取得（日商簿記1級・実用英語検定2級以上・基本情報技術者等）
- (4) 豊かな人間性、社会人としての倫理に基づく行動力を身につけるため、あいさつをはじめとするコミュニケーションを重視した活動を学校内外の教育活動に位置づけます。
 - ・ビジネスマナー
 - ・部活動
- (5) 様々な活動を通して、将来の職業と進路目標を定め、多様な進路選択に対応します。
 - ・キャリアパスポート活用

3. 生徒募集方針（アドミッション・ポリシー）

本校では、下記のような生徒の皆さんの入学を待っています。

- (1) 基本的な生活習慣が身につけている生徒
- (2) 学習・資格取得・部活動等に、目標を持って積極的に取り組むことができる生徒

松江農林高等学校スクール・ポリシー

★アドミッション・ポリシー
入学時（求める生徒像）

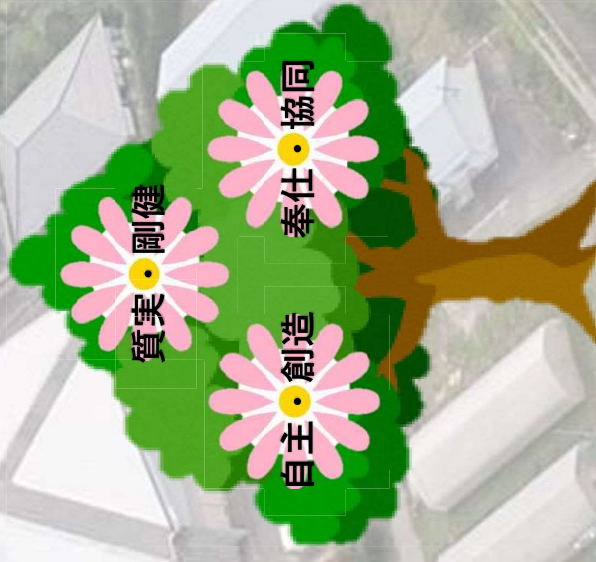
- 学ぶ意欲を持った生徒
- 社会に目を向ける事ができる生徒
- 人との関わりを大切にする生徒

★カリキュラム・ポリシー
教育課程編成・実施の方針

- 知識・技能の確実な習得
- 構造化（目標-流れ-振り返り）した授業の徹底
- 言葉の力の向上
- 資格取得等の学習推進
- 課題研究の高度化
- 実験、実習及び体験的学習の場の充実
- 特別支援教育、ボランティア活動の推進

★グラデュエーション・ポリシー
卒業時（育てる力）

- 質実・剛健（基礎的体力）飾り気のない逞しい心身力
- 自主・創造（自己実現力）主体的にモノを創り上げる力
- 奉仕・協同（社会貢献力）他人と力を合わせて社会貢献を行う力



宍道高等学校 スクールポリシー

1. 本校のミッション

生徒一人ひとりが、色々な人のなかで、つながったり、見つけたり、学びあったりしながら、『自分らしい生き方をデザイン』していくことを後押しする。

《教育目標》

生徒一人ひとりが『自分らしい生き方をデザイン』する力の育成

「発見 敬愛 自律」の校訓のもと、多様な学習履歴、学習動機をもつ生徒のニーズに対応したきめ細かな教育活動を通して、生徒一人ひとりが、自分らしい生き方を発見し、さまざまな人と関係を築く力をつけ、社会的自立を果たしていくことを目指します。

《目指す生徒像》

- 1) 主体的に学ぶ意欲をもち、自分らしさを生かすことができる生徒
- 2) 社会とのつながりのなかで、自ら考え行動し、協働できる生徒
- 3) 自然や文化を愛し、自分と多様な他者とをともに大切にできる生徒

2. 特色ある取り組み（教育課程編成・実施方針）

- 1) 多様な学習ニーズに応える。
 - ・ 定時制課程（三部制）と通信制課程を併置し、単位制、少人数指導を実施
 - ・ 個別最適な学習の実現に向け、ICT機器を活用した教育活動を推進
- 2) 安全で安心できる環境をつくる。
 - ・ さまざまな経済的支援制度等を必要に応じて活用できるよう支援
 - ・ 生徒、保護者、来校者等への丁寧な説明、きめ細かな応接
 - ・ 教職員、教育相談員、スクールサポーター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど全校体制での生徒の見守り、必要に応じて外部関係機関と連携した支援
 - ・ 「わかる」授業の実践のため、すべての授業で10の視点を実施
- 3) 自己理解、自己決定の場をつくる。
 - ・ 社会的・職業的自立に必要な資質・能力を育成のため、キャリア・カウンセリング・プログラム（CCP）を含め、キャリア教育を推進
 - ・ 定時制課程では個のニーズに応じて通級による指導を実施
 - ・ 体験を通じた学びの機会を充実

- 4) 多様な人と協働する場を支援する。
- ・ 宍道高校コンソーシアム等と連携・協働した活動を推進し、社会とのつながりのなかで主体的な学習意欲を向上
 - ・ 学校設定科目の設置、日本語指導員等支援体制の整備とともに、多文化共生の機運を醸成
 - ・ さまざまな場面で生徒主体の企画運営、活動を実施
 - ・ 人権・同和教育等を通して、自他ともに認め合える人権感覚を涵養

3. 生徒募集方針

《求める生徒像》

- 1) 通信制課程（定時制課程）の特色を理解し、学習に積極的に取り組もうとする意欲と学力を有する生徒
- 2) 学校行事、部活動等の特別活動、地域社会での諸活動など多様な活動に意欲的に取り組もうとする生徒
- 3) 日々の学習や経験から得たことを生かし、自分の将来について真摯に考えようとする生徒
- 4) 学校や地域社会の一員として必要な規範意識、基本的な生活習慣や態度を身につけようとする生徒

『大東高校のスクールポリシー』

令和3年6月30日

I 生徒育成方針（グラデュエーション・ポリシー）

1 教育目標

知・徳・体 調和のとれた人間の育成

- 広く知識を求め、不断の勉学に努める生徒を育成する。
- 自己を大切にすると共に、他者を思いやることのできる生徒を育成する。
- 積極的に心身の鍛錬に努める生徒を育成する。

2 育成したい資質・能力と育成したい生徒像

- 1) つながる力（人間力） ……人とつながる力
多様性を認め、自他ともに尊重することができる心豊かな生徒
- 2) つなげる力（学力） ……学んだことをつなぎ、キャリア実現につなげる力
学んだことをつないで、主体的に学習を推進し、キャリア実現につなげていく生徒
- 3) つむぐ力（社会力） ……自分と地域の未来をつむぐ力
地域や社会とのつながりを自覚し、自分自身の未来を地域の未来につむいでいこうとする気概をもった生徒

II 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

1 多様な進路に対応したカリキュラム

～可能性を開き、チャレンジを支える～

2 キャリア教育の充実

1) キャリア教育の目標

「主体的に学び、自らの未来を切り拓いていくことができる生徒を育成する」

- ・ 授業や特別活動、部活動を通して視野を広げ、将来へのビジョンをもつ
- ・ 地域との関わりを通して将来への見通しを立て、自身のキャリアをデザインしていく

2) 主体性を育む

主体性を育むための7つの資質能力（ルーブリックを活用した評価）

- ①チャレンジ精神 ②寛容さ ③協働する力 ④広い視野 ⑤思考力
- ⑥表現力 ⑦計画実行力

III 求める生徒像（アドミッション・ポリシー）

「知・徳・体 調和のとれた人」をめざし、チャレンジする生徒

島根県立横田高等学校 スクールポリシー（令和4年度版）

学校教育目標（目指すべき資質・能力）

「耕心培学」～心の田を耕し、学徳を培う～

- (1)自己実現力（自己有用感、主体的行動力）
- (2)コミュニケーション力（協働力、対話力）
- (3)多様性理解力（地域関係頻度、多文化理解力）
- (4)課題解決力（課題発見・探究力、創造力）

※あわせて上記の土台となる「学びに向かう気持ち」の醸成に力を入れる

卒業の認定に関する方針（育てる生徒像：グラデュエーション・ポリシー）

何ができるようになるか・どのような生徒を育成するのか

四方よしの心を持ち、未来を描ける人材

- (1)自分に自信を持ち、可能性や未来を信じていることができるひと
- (2)思いやりを持ち、互いを高め合うことができるひと
- (3)郷土、日本、世界を知り、異なる文化を受け入れることができるひと
- (4)社会課題を自分事とし、解決に向けて挑戦することができるひと

【教員の想い】奥出雲町唯一の高校として、地域の期待に応え、地域の課題に寄り添い、地域の未来に貢献する人材を共に育てたい

【地域・保護者の想い】奥出雲町への愛着と誇りをもち、自らとふるさとの未来を切り拓いていく力を身につけ、様々な形で奥出雲町に関わりを持とうとする生徒を育ててほしい

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

何を学ぶか・どのように学ぶか・どのように育成するのか

自ら未来を切り拓いていく力を持ち、地域に貢献できる人材の育成のため、多様な進路志望に応じたキャリア形成を目指す教育課程を編成する。

入学者の受け入れに関する方針（求める生徒像：アドミッション・ポリシー）

- (1)自主性を持つとともに、他者への思いやりを持つ生徒
- (2)自分の視野を広げ、たくましく社会で生きようとする生徒
- (3)学習や部活動などの様々な教育活動に励み、活力ある高校生活を送ろうとする生徒

スクールポリシー

三刀屋高等学校

I 生徒育成方針 ～こんな生徒を育てます～

校訓 「誠実・剛健 礼儀・規律 勤労・勉励」

<教育目標>

- 1 可能性に挑み、協働をとおして道を拓いていく人材の育成
- 2 ふるさとを愛し、高い志をもって社会に貢献する人材の育成

<目指す生徒像>

- 1 勉学・勤労に主体的に取り組み、自らの可能性を広げていく生徒 (学力)
- 2 興味・関心と健全な批判精神をもち、社会とかかわっていく生徒 (社会力)
- 3 自他の人権を重んじ、誠実な言動で人間関係を築いていく生徒 (人間力)

II 教育課程編成・実施方針 “県内唯一「普通科型総合学科」の魅力を最大限生かします” 「三高トライアングル学習」(授業・課題研究・家庭学習の連関強化) により次の8つの力を育てていきます”



- ① 広い視野(多角的な視点) …多角的な視点で物事を捉える力
- ② 当事者意識(主体性) …身の回りの課題や所属するコミュニティに対して自分事としてとらえる力
- ③ 目標設定力(計画性) …自ら高い目標を設定、目標の実現に向けて計画を立てる力
- ④ 思考力(批判力) …問題の原因や構造を深く考え、因果関係を整理する力
- ⑤ 実践力・行動力…掲げた目標や解決してみたい課題に対して、一歩踏み出して行動する力
- ⑥ 自己主張・自己表現…自分の気持ちや考え、意見を相手に伝える力
- ⑦ 協働する力…異なる世代・背景や価値観を持つメンバーとも協働して物事を進める力
- ⑧ 振り返る力(メタ認知) …目標に対して、自身の現状を客観的に見つめて改善する力

【学びの土台】(教育環境)

- 学びの土台となる教育環境を提供していくとともに、自己実現の基盤(心柱)となる確かな学力を育成するため、授業を充実させ、三高トライアングル学習を進めていきます。
- 主体性を育み、高校生活やその後の人生がより豊かなものとなっていくようキャリア教育を推進していくとともに、全ての教育活動を通して社会力、人間力を育てていきます。
- 特別支援教育、生徒指導、人権教育の充実により、一人一人を大切にしていきます。

～カリキュラムの特徴～

- 1 系列別に選択できる授業を多くし、進路別に細かく対応できるようにしています。
- 2 探究学習として「未来創造探究Ⅰ、Ⅱ」を設定し、地域の魅力や課題の発見と解決に必要な知識及び技術を身につけ感性を養うとともに、主体的・協働的に課題解決を図ろうとする態度や意欲を養います。
- 3 授業改善や学習評価の充実に加え、ICTを積極的に用いたり、図書館の利活用を図ったりすることにより、深い学びにつながるわかりやすい授業を行います。

III 生徒募集方針 ～こんな生徒を待っています～

<求める生徒像>

志をもって粘り強く努力し、自らを高めようとする生徒

- ・ 高等学校の学びに必要な基礎的学力を身に付けている生徒 【学力】
- ・ 他者と協働しながら、主体的に活動することができる生徒 【社会力】
- ・ 自他をともに大切にし、良好な人間関係を築いていく生徒 【人間力】

スクール・ポリシー

三刀屋高等学校掛合分校

① 生徒育成方針 ～こんな生徒を育てます（グラデュエーション・ポリシー）～

校訓『志操堅固』（志や考え・主義などを堅く守り、何があっても自分の信条を曲げないこと）

<教育目標>

- 1 ふるさとを愛し人を愛し、志をもって社会に貢献する人材の育成
- 2 自己の可能性に挑み、主体的に道を拓いていく生徒の育成

<目指す生徒像>

- 1 勉学・勤労に主体的に取り組み、自らの可能性を広げていく生徒（学力）
- 2 自己管理能力を身につけ、興味・関心をもって社会とかかわっていく生徒（社会力）
- 3 自他の人権を重んじ、誠実な言動で人間関係を築いていく生徒（人間力）

② 教育課程編成・実施方針 ～こんな授業を行います（カリキュラム・ポリシー）～

『地域と共にある県内唯一の分校としての魅力開拓・再発見』

- 1 中学校までの学習内容を学び直しながら、徐々に高等学校での学習内容へと移行していきます。また、ICT 機器を積極的に用いることにより、わかりやすい授業を行います。
- 2 地域を学びの場とし、さまざまな体験学習を通して、幅広い世代の人たちとコミュニケーションをとる力や地域・社会への貢献意欲を養います。
- 3 「総合的な探究の時間」、学校設定科目「地域創造」「里山の生態」を活用し、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、主体的・協働的に課題解決を図ろうとする態度を養います。

③ 生徒募集方針 ～こんな生徒を待っています（アドミッション・ポリシー）～

本校は、仲間・教職員・地域の力を借りながら、学ぶ喜びや協働して課題を達成する喜びを感じることで、自分に自信を持ち、社会に有用な人材として巣立っていくことを目指し応援する学校です。次に挙げる資質・能力を有する生徒の入学を待っています。

<求める生徒像>

『何事にも志をもって意欲的かつ誠実に取り組むことのできる生徒』

- 1 義務教育段階における基礎的学力を有する生徒
- 2 学級活動・生徒会活動・地域活動に積極的に参加する生徒
- 3 人の気持ちを思いやり、良好な人間関係を築ける生徒

飯南高等学校 カリキュラム・ポリシー

1. 自らの人生を主体的に切り拓いていく力の育成を目指します

○これからの時代の先進地域、飯南町をフィールドとする「生命地域学」を中心に

2. 学校の教育活動全体を通して、体系的・系統的に授業を実施します

○各教科での探究的な学習の推進

○基礎・基本を重視し、少人数・習熟度別授業を展開して学力向上を図る

○ICT機器の活用

○2年次からのコース選択

2年次：Ⅰ型（就職・専門学校向け）、Ⅱ型（大学・短大向け文理混合クラス）

3年次：Ⅱ型文系・理系で5教科中心のコース、国英を中心としたコース

3. 3つの力を身に付けさせます

○関わる力…多様な資源（モノ・コト）に関心を持ち、他者（ヒト）と協働する

（例）はやしこ参加、地域医療学習、中山間地域学習、インターンシップ
国際交流体験学習、スキー研修

○描く力…これまで得た知識や経験をもとに、自分や地域の未来を描く

（例）飯南ジョブフェア、福祉体験学習

○発信する力…地域・高校の魅力や課題、自らの考えや夢を発信する

（例）プレゼンテーション講座、プロジェクト学習講座
課題研究（生命地域学発表会）

4. 保小中高一貫教育を推進します

○飯南町で育てたい7つの資質・能力

主体性、課題発見力、計画力、創造力、巻き込む力、実行力、発信力
飯南町キャリア・パスポートでの目標設定・振り返り

島根県立平田高等学校 スクール・ポリシー

①育成を目指す資質・能力に関する方針（生徒育成方針、グラデュエーション・ポリシー）

1 本校のミッション（本校の使命）（＝校訓・教育方針・教育目標）

校 訓 自律・協同・創造

教育方針 主体的な姿勢と協調の精神をもって、常に新しい時代を切り開く人格の形成に努めさせる。 ※地域人材の育成

教育目標（１）自らの責任において自己の目標をたて、その目標に向かって自己を厳しく律することができる力を育てる。
（２）集団の中における自己の立場を自覚し、協調・協力することのできる態度を育てる。
（３）健康に留意し心身の鍛練に努めると共に、自己実現の意欲を喚起し、よりよい社会の実現を目指して創意工夫する態度を育てる。

2 本校のビジョン（目指す学校像）（＝学校運営方針）

地域から信頼される、魅力と活力のある学校

- （１）一人一人の生徒を大切にす支援体制の充実した学校
- （２）生徒の主体性を育む教育活動を推進する学校
- （３）生徒の学びの質を高めるための授業改善を推進する学校
- （４）地域との協働による魅力化を推進する学校

3 育てたい生徒像（＝目指す生徒像）

- （１）自他の人権を尊重し、差別をなくす実践力のある生徒
- （２）自己管理ができ、諸活動に対して主体的に取り組む生徒
- （３）「生きる力」となる学力を身に付け、たくましく自己実現を目指す生徒
- （４）社会の一員であることを自覚し、よりよい社会の実現のために貢献する生徒

②教育課程の編成及び実施に関する方針（教育課程編成・実施方針、カリキュラム・ポリシー）

- （１）普通科・コース別授業（進路希望や興味・関心に応じた学び）
・少人数授業、個別指導（きめ細かい指導）
- （２）「地域協働学習」（地域課題解決に向けた体験的・探究的カリキュラム）
キャリア教育
- （３）「地域協働学習」と連携した教科横断的な各教科の取組

③入学者の受入れに関する方針（生徒募集方針、アドミッション・ポリシー）（＝求める生徒像）

- （１）自己の目標に向かって心身の鍛練をはかり、向学心・向上心を持つ生徒
- （２）自他を認めあい、協調・協力してものごとに取り組む生徒
- （３）何事にも粘り強く取り組み、やり遂げようと努力する生徒

出雲高等学校スクール・ポリシー

出雲高校は令和2年度に100周年を迎え、これまで社会に有為な人財を数多く輩出してきました。その歴史と伝統を継承しつつ、新しい時代の諸課題に対応できる革新的人財の創出をめざします。

1 生徒育成方針(育てたい人物像) グラデュエーション・ポリシー

地域・社会のリーダーとして貢献できる人財 ～ 国創りを牽引するイノベーション人財 ～

- ① 明確な目標を持ち、その実現に向けて努力する人
- ② 常に探究心を持ち続け、視野の拡大と変革を志す人
- ③ 多様性を受容し、協働して新たな価値を創造できる人

2 教育課程の編成・実施方針 カリキュラム・ポリシー

伝統の「久徴の精神」は、「至誠」の継続的な実践により社会に貢献することをめざしています。この基本理念を元に、次の4つの資質を育てることをめざします。さらに、それぞれの資質を3つに細分化し、育てたい資質・能力として設定しました。

(1) 育てたい資質・能力

主体性	協働性	探究性	社会性
<ul style="list-style-type: none">・ 自己肯定感・ 課題発見力・ 挑戦力	<ul style="list-style-type: none">・ 多様性・ 対話力・ 課題解決力	<ul style="list-style-type: none">・ 論理的思考力・ 情報活用力・ 表現力	<ul style="list-style-type: none">・ グローバル意識・ 社会貢献意欲・ 発信力

上記資質・能力の育成のため、次表の4つをカリキュラムの柱とします。多様な系統への進路実現を可能とする普通科と先進的な理数教育を実践する理数科の特色あるカリキュラムを編成します。本校の伝統的姿勢としての「授業第一」主義を継承し、新しい学習機器やプログラムの研究・導入を進めます。また、人権尊重の精神にたち個を大切に教育を実践し、生徒一人ひとりの目標実現を支援します。

(2) 生徒育成のためのカリキュラムの4本柱

- ① 学科・教科・授業
 - ・ 普通科:進路に合わせて選択できる多様な科目の設置
 - ・ 理数科:理科と数学を専門科目として設置
 - ・ ICT活用による個別最適化した学習及び協働的学習の推進
 - ・ 人権・道徳教育の推進
 - ・ インクルーシブ教育の推進
- ② スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業
 - ・ 科学的な探究手法を用いた課題研究の実施
 - ・ 関西先端科学研修や海外研修の実施
- ③ キャリア教育
 - ・ 自己理解と進路研究プログラムの提供
 - ・ マインドセット手法の提供
- ④ 課外活動(部活動、生徒会活動、学校行事、自主的な活動など)
 - ・ 学園の指標の実現を支援する学校行事の実施と部活動や生徒会活動等の自主活動の支援

学びの志向 (スローガン)
「自立・協働・挑戦」

出雲高校の学びのスタイル

- ①協働的な学習
 - 教え合い、学び合いによる「新たな価値あるもの」の創造
 - 地域、国際社会への発信
- ②客観的根拠に基づく思考
 - 論理的に考える
 - 多角的・多面的に考える
 - 事実に基づいて考える

学園の指標

1. 自主自立の精神に富み、気品高き自治の学園
2. 誠実、勤勉にして、社会秩序を重んずる学園
3. 教員、師弟、校友相睦み合う、友愛協和の学園

* 学園の指標は昭和24年に生徒会が作成して以来本校の生徒のめざす目標として掲げられています。この指標の実現にむけて生徒の活動を支援します。

3 生徒募集方針(求める生徒像) アドミッション・ポリシー

- ① 好奇心が旺盛で、基礎学力を有している生徒
- ② 感性豊かで、誠実に他者と関わることのできる生徒
- ③ 進んで集団に貢献しようとする意欲のある生徒

出雲工業高等学校 令和4年度 スクールポリシー

○入学者の受け入れに関する方針（求める生徒像）（アドミッションポリシー）

- (1) 工業の分野に関して興味・関心を持ち、知識、技術および技能の習得に誠実に取り組み、ものづくりを通して旺盛な探究心や積極性を発揮できる人
- (2) 高校生活に明確な目標を持ち、学習や部活動等何事にも意欲的に取り組むことができる人

○教育課程の編成及び実施に関する方針【出工学びのスタンダード】（カリキュラムポリシー）

- (1) 授業改善（出工スタイル・ICT活用・協調学習）
- (2) 充実したキャリア教育・進路指導（インターンシップ・企業見学・キャリアパスポートの活用）
- (3) 共通教科と専門教科、座学と実習との有機的な連携（カリキュラムマネジメント）
- (4) 地域と連携したものづくり教育（探究学習の充実）

○卒業時身につけておくべき資質能力【出工で育成したい8の資質・能力】（グラデュエーションポリシー）

能力要素	内容	育成するための手立て
チャレンジ精神 (チャレンジする力)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一歩踏み出す勇氣 ・ 困難にぶつかってもあきらめない心 ・ 高みをめざす向上心・意欲 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路実現や資格取得を支援 ・ 生徒のチャレンジを支える教員 ・ 達成感を獲得し次の目標へ挑戦
技を極める力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生き抜くための知識や技術の習得 ・ ものづくりのスキル向上 ・ 資格取得や特技を極める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の指導力向上（ロールモデル） ・ 資格取得の奨励 ・ 外部指導者の活用
貢献する力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会の一員としての自覚と貢献 ・ 工業技術での社会貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域貢献活動の充実 ・ 人と関わる活動の充実 ・ 地域課題や社会の課題を知る
協働する力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人の意見や考えを理解し協働する ・ 他人に働きかけ巻き込む ・ 相手の意見を丁寧に聴く ・ 意見の違いや立場の違いを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業や実習でのグループ活動 ・ 協働し、ものを作りあげる活動 ・ 学校行事や部活動等の特別活動充実
表現する力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えをわかりやすく伝える ・ 意見を整理した上で伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業での表現（アウトプット）の場 ・ 課題研究発表会
問題解決力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状を分析し課題を明らかにする ・ 答えのない課題を論理的に考える ・ 情報を取捨選択しながら課題解決 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業や実習でのグループ活動 ・ 課題研究での探究活動充実 ・ 学校行事や部活動等の特別活動充実
自らを律する力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会のルールや人との約束を守る ・ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰） ・ 安全第一 ・ 社会人としてのマナーアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業規律の確保 ・ 期限を守る ・ 挨拶 ・ 5S活動 ・ 安全教育 ・ ものづくり活動
学び続ける力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標を設定し行動する ・ 物事に進んで取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリアデザイン ・ 資格取得 ・ 学習評価の改善

○すべての教育活動全体をとおして育成する

○各教科の指導においても、資質・能力と教科内容の関連づけを行い、ルーブリックを作成するなど評価する

スクール・ポリシー（ミッション）

変化の激しい社会をたくましく生き抜き、次世代の地域・社会の発展に貢献・活躍できる人材の育成
社会の急激な変化や多様性、グローバル化、少子化・人口減少などの社会的課題を踏まえ、令和4年度から実施される新学習指導要領に照らした教育活動を以下の通り実施していきます。

1 育成を目指す資質・能力に関する方針（生徒育成方針、グラデュエーション・ポリシー）

『様々な課題解決力を実践し、自己プロデュースできる自立型人間の育成』

- （1）課題発見・解決のために主体的に考え、行動できる生徒を育成します
- （2）ビジネスマナーやコミュニケーション能力を身に付け、他者と協働できる生徒を育成します
- （3）地域や人を愛し、自己有用感、自己肯定感を抱ける生徒を育成します

2 教育課程の編成及び実施に関する方針（教育課程編成・実施方針、カリキュラム・ポリシー）

（1）基本方針

基礎学力と幅広い知識や教養を身に付け、豊かな情操と他者への想像力、道徳心を持った生徒を育てることを教育活動の基盤とし、生徒一人一人の個性や資質・能力、適性に応じた、多様な進路を実現するための教育課程を編成します。

（2）確かな基礎学力と幅広い知識・教養の育成

各教科・特別活動を通じて、主体的・対話的で協働的な学びを実現します。

（3）探究的な学びの実現

課題研究や各教科の学びを通じて、ビジネスの視点を持った探究的な学びを実現します。

（4）ビジネスマナーやコミュニケーション能力の育成

「出商デパート」「課題研究」などを通じて、地域と連携した学び、地域と協働した学びを実現します。

3 入学者受け入れに関する方針（生徒募集方針、アドミッション・ポリシー）

「自立型人間の育成」を掲げる本校は、以下のことを入学者に求めます。

- （1）心のコップが上向きで、誰からもどんなことから学ぼうとする生徒
- （2）自ら目標を立て、目標達成のための手立てや方法を考え、やりきることができる生徒
- （3）心身の健康と体力の向上を図ることができ、他者への思いやりの心を持ち、いつも笑顔でプラス思考な生徒

島根県立出雲農林高等学校の『3つの方針』

校 訓 「耕魂 育命」 生命を育て、自らの魂を耕せ
教育目標 「自己表現できる専門的職業人の育成」

1. 『生徒育成方針（グラデュエーション・ポリシー）』

- ① 社会に通じる人間力をもった生徒を育成する。
 - ・コミュニケーション力：社会的に通用する気持ちの良いあいさつができる生徒
生徒自治活動や部活動で活発に活動する生徒
学校生活や学習活動を生き生きと発表できる生徒
 - ・学 力：基礎学力が定着した生徒
専門学科の基本的な知識と技能を持った生徒
 - ・自 己 管 理 力：遅刻欠席がなく時間を遵守できる生徒
整理整頓や清掃が自らできる生徒
- ② 自ら学ぶ姿勢を持ち、志をもって社会貢献する生徒を育成する。
 - ・自 主 性：何事にも興味関心を持ち、主体的にチャレンジする生徒
 - ・専 門 性：専門学科の内容を深く探究する生徒

2. 『教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）』

- ① 生徒の人間関係づくりを支援する。
 - ア、あいさつや言葉づかい、返事、式典での校歌斉唱、情報モラル等の指導からよりよい学校文化を醸成する。
 - イ、人権教育の推進及び道徳教育、特別支援教育的視点を位置づけた授業や行事を展開する。
 - ウ、LHR活動や球技大会、体育祭、農業祭等を通じた良きクラスづくりを推進する。
 - エ、生徒会、農業クラブ、家庭クラブ、部活動などの活動から生徒の自治能力の育成を図る。
- ② わかる授業、できる授業を目指し授業改善を推進する。
 - ア、基礎・基本の確実な定着をめざし、目標や振り返りを導入した授業を徹底する。
 - イ、初任者研修、フォローアップ研修、公開授業週間を通して研究授業の充実を図る。
 - ウ、年間指導計画、シラバス等の練り直しから学年進行での到達目標を明確にする。
 - エ、特別支援教育の観点から、ユニバーサルデザインを取り入れるとともに、ICT機器や図書館の活用を有効的にすすめる。
- ③ 地域との協働による教育改革を推進する。
 - ア、コンソーシアムを通して、地域関係機関との連携を強化し地域課題の解決や出雲市に貢献できる内容を検討し実施する。
 - イ、生徒のアイデアから出雲地域にイノベーションを起こすことを目指す。
 - ウ、学校設定科目 サイエンスアプローチの充実を図り基礎学力の確実な定着を目指す。
- ④ キャリア教育（キャリアプランニング）の充実から進路実現を図る。
 - ア、体系的な指導体制によって、進路実現を図るとともに地域の担い手育成に貢献する。
 - イ、基礎学力の確実な定着と資格取得を継続的に指導し、学習成果の見える化を推進する。
 - ウ、キャリアパスポートの充実を図る。
- ⑤ 農業教育の更なる充実を目指す。
 - ア、農業クラブ活動をよりいっそう充実させ、全国大会での最優秀賞を目指す。
 - イ、GAP、HACCP（認証）教育を推進する。
 - ウ、生産農場と研究農場とのバランスを図り、技術の習得と課題解決能力の醸成を図る。

総合的に「日本一の農業高校」と言える（評価される）学校を目指す。

3. 『生徒募集方針（アドミッション・ポリシー）』

- ① 植物分野（作物・野菜・草花・果樹・バイオテクノロジーなど）、土木・造園分野（測量・施工・樹木など）、食品分野（分析・加工・製造など）、動物分野（乳牛・和牛・愛玩・バイオテクノロジーなど）について本校の学習内容に興味関心を持ち、継続的に学習に取り組む生徒
- ② 実験・実習、プロジェクト学習での計画・実践・まとめ・発表などを通して体験学習や地域の課題解決学習に意欲的に取り組む生徒
- ③ 将来、本校で学んだことを生かしてさらに大学等で専門的に深く学んだり、地域社会で農業をはじめとした産業の発展に貢献しようとする生徒

令和4年度 島根県立大社高等学校 スクールポリシー

校 訓 【自立自主 敬愛互助 創造発展】

教育目標(育てる生徒像)

「郷土に思いをいたし、こころ豊かで、たくましく生き抜く実践力のある人材の育成」

スローガン(めざす学校像)

「夢 努力 感動 ～自分を好きでいられる学校～」

◆ 育みたい力/グラデュエーション・ポリシー

- (1) **両科共通** 当事者意識、協調性、挑戦する意欲・力、関わる力 (オープンマインド)
- (2) **普通科** 創造力、情報活用力、創造力・実践力、振り返る力
- (3) **体育科** 向上心 (情熱)、競技力、指導力 (専門性)、結束力

◆ 教育課程の基本方針/カリキュラム・ポリシー

(1) 両科共通

- 生徒の主体性と他者と協働する力を育む活動の推進
- 目標達成に向けて見通しをもって取り組む活動の推進
- 生徒同士の学び合いを取り入れた授業づくり
- 地域の課題から学ぶ「総合的な探究の時間」

(2) 普通科

- 「生徒の主体的・能動的な学び」の追究
- 個別最適な学びの保障⇒少人数編成授業、少人数指導
- 多様な進路志望への対応⇒細やかなコース選択と幅広い科目選択

(3) 体育科

- 高度な運動技能の習得⇒運動の合理的な実践
- 体育・スポーツの振興に寄与する能力・態度の育成⇒体育専門科目・体育理論の充実

◆ 求める生徒像/アドミッション・ポリシー

- 自分で考えようとする姿勢が持てる生徒
- 目標に向けて努力し続ける意欲・粘り強さのある生徒
- 自他を大切にできる意識・態度のある生徒
- 知的好奇心の旺盛な生徒 (普通科)
- 優れた能力と実績、意欲のある生徒 (体育科)

大田高校の「3つの方針」

① 生徒育成方針

育てたい生徒像「自分自身で 決める・語る・動く ことができる生徒」

そのために以下の力の育成を目指します。

- 「自己理解力」 自己を内省するとともに他者や社会との関連による客観的な視点を持つことにより、現在の自己と将来あるべき自己を理解する力
- 「批判的思考力」 他者や社会などの外的世界について、的確な情報収集などによって現状を把握し、あるべき姿やそれに向かう手段を思考する力
- 「対話的表現力」 他者の思いや周囲の状況を受け止めながら、よりよい状況に向かえるように、自己の考えや思いを的確に表現する力
- 「主体的行動力」 社会に関する問題意識とその問題に対して当事者意識を持ち、よりよい姿に向かうために、自らの意志で、自らの力を発揮しながら行動する力

② 教育課程編成・実施方針

生徒一人ひとりの進路志望に対応し、問題解決能力を高める教育課程

- ・ 1年次は、幅広い科目を学習し、基礎学力の向上を目指します。
- ・ 2年次普通科は、文系・理系別に学習内容を深めていきます。
理数科は、理数科目を中心に学習内容を深めていきます。
- ・ 3年次は、一人ひとりの進路に対応する科目を選択し、進路実現を目指します。
- ・ 地域探究学習、課題探究学習を通じて、問題解決能力を高めます。

③ 生徒募集方針

求める生徒像「自らを向上させ、目標を達成しようとする意欲のある生徒」

- ・ 本校で学びたいという強い意志を持ち、他人と協働して目的を達成しようとする事ができる生徒
- ・ 学習活動および特別活動に積極的に取り組み、目標の達成をめざす生徒
- ・ 地域の発展に貢献しようとする創意に満ちた意欲のある生徒

中学校生活で意識してほしいこと

- ・ 基本的な生活習慣を確立する
- ・ 高等学校での学習に必要な基礎学力を付ける
- ・ 学習活動、クラブ活動、生徒会活動、ボランティア活動等に積極的に参加する



伝統精神 「勤労、創造、仁心」

スクールミッション 「人間性豊かで、将来の地域産業を担う職業人・社会人の育成」

～中学校における教育の基礎の上に普通教育及び専門教育を行いながら
一般的な教養を高め、専門的な知識・技術及び社会人として必要となる能力を習得させる～

1. 『生徒育成方針（グラデュエーション・ポリシー）』

- **勤労** 地域に愛着と誇りを持ち、一緒に仕事をしたいと思われる生徒を育成する。
- **創造** 自らの課題と目標を設定し、自己実現に向けて主体的に取り組む生徒を育成する。
- **仁心** 多様性を認め、協働して問題を解決し、地域の発展に貢献できる生徒を育成する。

<育成する資質・能力>

- ① 主体性
 - ・ 自ら学ぼうとする姿勢、質問や意見を発言する姿勢、自ら役割を担おうとする姿勢
- ② 協働性
 - ・ お互いを認め尊重し合う力、対話によって状況や取組をより良くしようとする力、組織や状況を認識し自分が何をすべきか判断する力
- ③ 探究性
 - ・ 課題や目標を設定する力、情報を収集・整理・分析する力、論理的にまとめて発表する力
- ④ 社会性
 - ・ 自己管理能力、コミュニケーション力、社会貢献意識

2. 『教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）』

- ① わかる、できたが実感できる授業を実践する。
 - ・ ICT機器を有効的に活用して、わかる授業を実践し、基礎学力の確実な定着を図る。
 - ・ 特別支援教育の観点から、ユニバーサルデザインやSST（ソーシャルスキルトレーニング）を取り入れた授業を実践する。
- ② 生徒が自分の進路や興味・関心により総合学科ならではの多様な選択のできる教育課程を編成する。
 - ・ 「農業とくらし」「みらいビジネス」「食とこども」「ひとと福祉」の4系列の各専門分野の知識・技術を身に付けるため、実習を重視する。
 - ・ 柔軟な科目選択ができるようにし、系列を超えた学びを可能にする。
 - ・ 検定や資格取得の学習を通して各系列の専門性の向上を図り、多様な進路選択を可能にする。
- ③ 「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」を柱としたキャリア教育や体験や地域連携を重視した活動を実践する。
 - ・ 総合学科原則履修科目「産業社会と人間」
出会いと関わり合いを通して視野を広げ、自分を見つめ、多様な価値観を育成する。
 - ・ 「総合的な探究の時間」
1年次 系列体験や体験的な活動しながら、探究学習の基本的スキルを身に付ける。
2年次 地域社会や自らの課題を発見し、主体的な解決方法を探究し、進路実現に向け勤労観を養う。
3年次 系列で学ぶ専門的な知識・技術を活用して、課題解決学習（課題研究等）を実践し、邇摩高フェアの企画・運営を通して、地域への貢献方法を探究する。
- ④ 地域との協働による学校魅力化を推進する。
 - ・ コンソーシアムを活用して地域関係機関との連携を強化し、地域課題解決や地域貢献に取り組むことで、地域と一体になって学校魅力化に取り組む。

3. 『生徒募集方針（アドミッション・ポリシー）』

- ① 基本的な生活習慣と基礎学力が身につけており、主体的に粘り強く何事にも取り組める生徒
- ② 本校の学習内容に興味・関心があり、他の生徒と協力しながら、よりよい学校生活を築いていくことができる生徒
- ③ 地域に愛着と誇りを持ち、将来、地域に貢献しようとする志を持つ生徒
- ④ 自他ともに尊重し、思いやりをもってより良い人間関係を築こうとする生徒



1 グラデュエーション・ポリシー 〈こんな生徒を育てます〉

- 自らうごく (自分で調べ、考え、判断して行動する) 生徒 自立
- 共にあゆむ (人と対話し、知恵と思いを共有する) 生徒 共生
- 未来をつくる (最良の未来に向け、困難に立ち向かう) 生徒 挑戦

2 カリキュラム・ポリシー 〈こんな教育活動で育てます〉

○様々な進路に対応する「教科・科目」

普通科コース制・総合選択制による 2年生からのコース別学習

自然科学コース	[知識定着型学習]
人文科学コース	共通テスト・筆記試験対応
地域デザインコース	[探究型学習] 総合型・推薦型・面接試験対応

○学ぶ力・協働する力、思考力・表現力を育てる「総合的な探究の時間」

- 1年 探究手法習得プログラム ～ 探究の考え方、方法を学ぶ
- 2年 個人探究プログラム ～ 興味あるテーマを見つけて探究する
- 3年 進路探究プログラム ～ 自分の進路を見すえて探究する

○個別最適な活動で力をつける「課外活動」

- 進学ゼミ (受験力をつける) 生徒会活動 (生徒の力で学校を創る)
- 放課後・土曜補習 (目標達成を後押し) 部活動 (人間力を育てる)
- 学習・進路指導 (個別の学びに対応) 地域活動プロジェクト (実践力を養う)

3 アドミッション・ポリシー 〈こんな生徒を待っています〉

- 基礎的な学力や向学への態度が身につけている生徒
- 年齢や所属を超えて多くの人との交流をもちたい生徒
- 地域の課題解決や新しいことにチャレンジしてみたい生徒

1 入学時に求める姿

〔アドミッション・ポリシー〕

- 中学校段階までの基礎学力を身に付けている生徒
- 学習やその他の活動に目的意識を持って意欲的に取り組もうとする生徒
- 思いやりを持ち、様々な立場の人と協働しようとする生徒
- 農業や工業に興味・関心がある生徒（産業技術科）

2 本校での学び

〔カリキュラム・ポリシー〕

- 普通科2コース（探究・総合）、産業技術科3コース（植物・動物・工業）のコース制により、進路希望や興味・関心に応じた学びが可能
- 小規模校のメリットを生かした習熟度別授業・少人数指導により、生徒の学力や到達度に応じたきめ細かい指導を展開
- 地域住民・地元企業との密接な連携により、総合的な探究の時間、課題研究を中心に地域課題を題材とする探究的・協働的な学びを充実

	1年次	2・3年次	
普通科	<ul style="list-style-type: none"> ■基礎学力と学習習慣の定着 ■コース選択に向けた進路学習 	<ul style="list-style-type: none"> ■探究コース <ul style="list-style-type: none"> ・文系・理系に分かれた専門的学習 ・大学受験に対応できる学力の醸成 ■総合コース <ul style="list-style-type: none"> ・幅広く教養を身につける多彩な学習 ・福祉、食物など地域の特色を生かした授業 	<p>（共通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域の方々と連携して行う地域課題解決型学習 ■主体性・協働性を高める研修旅行・研究発表会
産業技術科	<ul style="list-style-type: none"> ■基礎学力と学習習慣の定着 ■コース選択に向けた農業・工業の基礎を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ■植物コース <ul style="list-style-type: none"> ・花卉・野菜の栽培、みそ・ジャムなどの食品加工を通じて知識・技術・主体性を身につける ■動物コース <ul style="list-style-type: none"> ・邑南町ブランドの石見和牛の飼育を通じて知識・技術・主体性を身につける ■工業コース <ul style="list-style-type: none"> ・製図・木工製品の加工等の実習を通じて知識・技術・主体性を身につける 	<p>（共通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域の方々と連携して行う課題研究 ■主体性・協働性を高めるインターンシップ

3 卒業時にめざす姿

〔グラデュエーション・ポリシー〕

- 多様な分野でチャレンジすることができる確かな知識・技能を身に付けた人
- 地域社会の様々な課題に主体的に向き合い、地域の発展に寄与することができる人
- 思いやりの気持ちや協働する姿勢を身に付け、他者や社会との共生ができる人

島根県立江津高等学校のスクールポリシー

めざす学校像（スクール・ミッション）

健康で安全な生活を保障し、持続可能な社会の創り手を担う人材を育成するため、地域に開かれた学びを実践し、地域の未来に資する学校

◎江津高校は以下の1～3の方針（スクール・ポリシー）にもとづき、

めざす学校像（スクール・ミッション）を実現します

1 育成を目指す資質・能力に関する方針

育てたい生徒像（グラデュエーション・ポリシー）

健康で安全な生活を実践し、持続可能な社会の創り手となるよう地域課題の当事者として自覚するとともに、自らの成長のために挑戦できる生徒

育成したい資質・能力（生徒育成方針）

- (1) チャレンジ精神 (2) 寛容さ (3) 協働する力 (4) 広い視野
(5) 思考力 (6) 表現力 (7) 計画実行力

2 教育課程の編成及び実施に関する方針

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

- (1) 生徒が出会いを通して感動し、意欲的になる機会を与えます
○地域の人々と連携した活動を通して、学びの糸口をつかませます。
○自ら探究すべき課題を発見できるように支援します。
○家庭学習の習慣が定着するよう授業や課題を工夫します。
- (2) 生徒が自ら考え、判断し、表現する機会を与えます
○生徒の「やってみたい」を支援します。
○主体的・対話的で深い学びにつながる授業を推進します。
○読書に親しむよう工夫し、言語活動を充実させ、言語能力を育てます。
- (3) 生徒が多様性を受け入れ、協働する機会を与えます
○部活動や社会活動などで、他者の価値観を尊重する態度を育てます。
○地域社会の一員として自己有用感を感じられるよう支援します。
○他者と協働し、答えのない問いに向かい続ける姿勢を養います。

3 入学者の受入れに関する方針

求める生徒像（アドミッション・ポリシー）

健康で安全な生活を希求し、社会や地域の一員としての自覚を持ち、自らの成長のために挑戦しようとする生徒

島根県立江津工業高等学校 スクール・ポリシー2022

このような生徒を求めています。

(求める生徒像：アドミッション・ポリシー)

本校の使命や教育方針を理解し、将来の目標に向かって、工業に関する学業などに積極的に取り組み、ものづくりや資格取得などに目的意識を持って取り組む意欲のある生徒や、人権尊重の精神を持ち部活動や奉仕活動などにおいて、入学後も積極的に取り組む意欲がある生徒を求めています。

このような学びを行います。

(教育の方針：カリキュラム・ポリシー)

共通教科を中心とした基礎学力の定着から、工業に関する、機械、電気、建築に関する専門教科を座学だけではなく実習等の実技を通して協働的・実践的・体験的に学び、技術・技能の習得を段階的・計画的に行うことで職業観・勤労観を身につけながら、就職や進学に対応できる学力を身につけます。また、課題研究など協働型・問題解決型探究型学習を通して主体的に思考する発展的な学習を行いプレゼンテーション力、自己管理能力を育成します。技術や技能を身につけて、高度資格取得にも挑戦します。

このような力を身につけます。

(卒業までに身につける力：グラデュエーション・ポリシー)

教育基本法に則り、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を養うとともに、多様性を受け入れ、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた地域産業を担うテクノロジストを育成します。

- ・ 自立・協働・創造の資質と人権感覚を持った工業人となるための実践力を身につけます。
- ・ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動ができる人間力を身につけます。
- ・ KY（危険予知）能力と技術力・判断力を身につけます。

地域産業を担うテクノロジストの育成

技能者（テクニシャン）+技術者（エンジニア）の要素を持つ=テクノロジストの育成（本校の使命：スクール・ミッション）

指導計画

生徒育成方針

1年生 基礎力の定着

主体的・対話的で深い学びの実践

- ・ 学習習慣の定着
- ・ 家庭学習の習慣化
- ・ 規律ある授業態度の育成
- ・ 少人数指導
- ・ 進路に関する情報集め
- ・ 地元企業現場見学
- ・ 進路ガイダンス
- ・ 地元企業と連携授業

工業技術の基礎基本を習得

- ・ 技能の基本を習得
- ・ ものづくりキャリアパスポート

工業技術基礎



工業技術の基礎・基本を学ぶ
チームワークを学ぶ
全体を見渡して判断する力

2年生 応用力の育成

主体的・対話的で深い学びの発展

- ・ 専門教科への深い学び
- ・ 進路目標の明確化と学習目標
- ・ 職業資格取得・検定への挑戦
- ・ コミュニケーション力の育成
- ・ 県内外企業見学
- ・ インターンシップ
- ・ 進路ガイダンス
- ・ 家庭学習の充実

技術・技能を高める

- ・ 資格取得への挑戦
- ・ コースごとの選択科目を学習し
専門分野の学習を深める

インターンシップ



資格取得
現場で学び視野を広げる
主体的に行動する力

3年生 実践力の育成

主体的・対話的で深い学びの深化

- ・ 課題研究で探究学習の高度化
課題を発見し解決していく能力の育成
- ・ ICT機器の活用能力の向上
- ・ プレゼンテーション力の向上
- ・ 現場見学・体験・社会貢献
- ・ 進路ガイダンス
- ・ ものづくり研究発表会
- ・ コンソーシアムで多様性の協働学習

問題解決型課題研究に挑戦する

- ・ 専門分野への興味をさらに高める
進路実現につなげる（就職・進学）
- ・ 高度資格取得への挑戦

課題研究発表会



多様な他者を理解し思いやる力
プレゼンテーション力
自己管理能力
社会人として必要な人間力

魅力化事業3本柱と

GO>GOTSUコンソーシアム

多様性のある深い学び

① 「つながる」事業

人間力・社会力・協働力・探究力の向上

② 「みがく」事業

ものづくり技術力・学力の向上

③ 「つたえる」事業

表現力・情報発信力の向上

島根県立浜田高等学校（全日制） スクール・ポリシー

学校教育目標

「高い理想と誠実な努力」

- ◎ 高い知性 ◎ 豊かな人間性 ◎ 逞しい心と体

スクール・ミッション

- ◆生徒一人ひとりの「夢」への挑戦と個性の伸長を後押しする学校
- ◆国際社会や国家及び地域社会の発展に貢献する志を持つ人材を育てる学校

① グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力）

DAVINCH Gs 《ダヴィンチ・ゴールズ》により、将来の、大学等でのあらゆる専門性と、社会人基礎力につながる資質・能力（広範な知識・教養、多様な視点、柔軟な思考力）を育成します。

- ◎ Diversity **多様性**
多様な価値観や個性を尊重できる感性
- ◎ Accord **主体性**（of one's own accord：自発的）
困難なことにも自ら進んで取り組む力
- ◎ Vision **先見性**
広い知識と視野を持ち、自己を見つめ、将来を見通す力
- ◎ Network **協働性**
つながりを大切にし、他者と協働する力
- ◎ Challenge **挑戦**
失敗を恐れず、積極的に行動する力

② カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

各教科の授業、総合的な探究の時間、特別活動等、すべての教育活動を通じてDAVINCH Gsの育成を目指します。

- ◆ **楽しく力のつく授業【協調学習・ジグソー法等】**
「主体的・対話的で、深い学び」の実現
- ◆ **HIRAKU【「総合的な探究の時間」】**
- ◆ **課題研究《理数科》**
社会課題・地域課題・科学的課題・自己の将来像を探究
- ◆ **生徒会活動・学校行事【浜高祭・芸術鑑賞等】**
主体性・協働性・挑戦を重視
- ◆ **部活動**
主体性・協働性・挑戦を重視
- ◆ **地域活動・社会活動**
多様な経験・主体性・先見性を育成

③ アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

- ◎ 多様な価値観や個性を尊重する姿勢を持つ生徒
- ◎ 様々なことに興味を持ち、積極的に挑戦する生徒
- ◎ 理数科目に対して深い関心と高い学力を有する生徒《理数科》
- ◎ 自己を見つめ、自己と社会の将来を考えようとする生徒
- ◎ つながりを大切にし、他者と協働できる生徒

○スクール・ミッション

- ・ 生徒一人ひとりの「夢」への挑戦と個性の伸長を後押しする学校
- ・ 国際社会や国家及び地域社会の発展に貢献する志を持つ人材を育てる学校

○スクール・ポリシー

1 《アドミッション・ポリシー》

<定時制>

- ・ 多様な価値観や自他の人格を尊重できる生徒
- ・ 高校生活に必要な生活習慣や態度が身につけている生徒
- ・ 地域社会で貢献するための基本的な知識や技能の習得をめざし、前向きに学習に取り組む生徒
- ・ 他者とのつながりを大切にできる生徒
- ・ 自己を見つめ、自己と社会の将来を考え努力しようとする生徒

<通信制>

- ・ 多様な価値観や自他の人格を尊重できる生徒
- ・ 生活習慣を整え、学校や社会のルールを守ることができる生徒
- ・ 地域社会で貢献するための基本的な知識や技能の習得をめざし、前向きに学習に取り組む生徒
- ・ 他者とのつながりを大切にできる生徒
- ・ 自己を見つめ、自己と社会の将来を考え努力しようとする生徒

2 《カリキュラム・ポリシー》

<定時制> 自分の学びと生活との両立が実現できるカリキュラム

生活と両立しながらの学習：二部制

- ・ 昼間部、夜間部のいずれかに所属
- ・ 定通併修や他部履修も可能
- ・ 協働を通して将来を切り拓く学習
- ・ 生活体験発表・生徒会活動・畑作り
- ・ グループ研修・ボランティア活動・インターンシップ・社会人基礎力講座等

<通信制> 自分のペースで学ぶことができるカリキュラム

自分で計画を立てる学習：単位制

- ・ スクーリング（面接指導）受講
- ・ レポート提出等
- ・ 自他を大切にしながら将来を見通す学習
- ・ 地域巡検・生活体験発表・集団研修
- ・ 生徒会活動・ボランティア活動
- ・ 健康講座・社会人基礎力講座等

3 《グラデュエーション・ポリシー：DAViNCh Gs（ダヴィンチ・ゴールズ）》

将来の、大学等でのあらゆる専門性と、社会人基礎力につながる資質・能力の育成

<広範な知識・教養> <多様な視点> <柔軟な思考力>

- | | | |
|--------------------|-----|-------------------------------------|
| ・ <u>Diversity</u> | 多様性 | 多様な価値観・個性を尊重できる感性生徒 |
| ・ <u>Accord</u> | 主体性 | 自ら進んで取り組む力 of one's own accord(自発的) |
| ・ <u>Vision</u> | 先見性 | 広い知識と視野を持ち、自己を見つめ、将来を見通す力 |
| ・ <u>Network</u> | 協働性 | つながりを大切にし、他者と協働する力 |
| ・ <u>Challenge</u> | 挑戦 | 失敗を恐れず、積極的に行動する力 |

島根県立浜田商業高等学校スクールポリシー

1 校訓

- (1) 開拓者精神に徹し、気魄と情熱に燃えよ。
- (2) 学習と部活動の両立に精進せよ。
- (3) 明朗にして闊達、気品ある校風の樹立に努めよ。

《スクール・ミッション》

2 学校経営目標

石見地域唯一の県立商業高校として、名実ともにその責任に応える。

3 教育目標

未来を切り拓く志を抱き、心身ともに健康で、豊かな心と高い知性をもった生徒を育てる。

4 スローガン

『さわやか浜商』

～ビジネスマナーの実践～ (挨拶、時間厳守、身だしなみ)

《グラジュエーション・ポリシー》～育てる生徒像～

ビジネス教育を通して、知徳体バランスのとれた力を育むとともに、地域の活性化に貢献する生徒を育てる。

- (1) 地域に信頼され、また地域から必要とされる生徒。
- (2) 地域の活性化に向けた取り組みができる生徒。
- (3) キャリア教育の推進により進路実現に努める生徒。

《カリキュラム・ポリシー》～教育課程編成・実施方針～

- (1) 気持ちの良いあいさつや身だしなみなどビジネスマナーを大切にした教育を実践する。
- (2) ICT機器の活用を推進し、時代の変化や社会の変化に対応する教育を推進する。
- (3) 人権意識の高揚を図り、自他を大切に思う心を育む。
- (4) 基礎学力の定着と主体的で探究的な学びにつながる授業を推進し、「思考力・判断力・表現力」を育てる。
- (5) 商業高校として特色ある教育課程を編成し、専門性を高める。
- (6) 高度資格取得に向けて、主体的・積極的に取り組む姿勢を育む。
- (7) 家庭・地域・企業・他校種学校と連携し、地域・学校の活性化を図る。
- (8) 部活動や生徒会活動を通して、自らを高める意欲の向上と責任感・連帯感の涵養を図る。

《アドミッション・ポリシー》～求める生徒像～

- (1) 商業に関する学習に興味・関心があり、目的意識を持つ生徒。
- (2) 学習活動と部活動の両立に熱意と意欲を持って努力する生徒。
- (3) 基本的生活習慣を身につけ、規範意識を確立している生徒。

※ 浜田商業高校は、次の4つを目指します。

- (1) 子どもが行きたくなる学校
- (2) 保護者がわが子を行かせたくなる学校
- (3) 地域の方が行ってみたくなる学校
- (4) 教職員が充実感をもって安心して働ける学校

島根県立浜田水産高等学校 スクール・ポリシー

合い言葉：「未来力を高めよう」

「Steady as she goes. ～針路を保て～」

校 訓： 自律 敬愛 進取

目指す学校像

地域の期待に応える専門高校として、海・船・魚を教材とした水産教育と、「動く教室」練習船を活用した乗船実習を通して、信頼される社会人となるため自らを律する力を持ち、何事にも負けず進んでやり遂げる活力ある生徒を育み、新たな時代を自らの力で切り拓く、専門性と協調性を有した働き人として社会へ送り出す。

生徒募集方針～このような皆さんを待っています～

- ▼ 水産教育に興味・関心を持ち、学ぶことへの強い意志を持つ生徒
- ▼ 高校での発展的な学びに意欲的に取り組み、資格取得に積極的に取り組む生徒
- ▼ 高校の部活動を通して、自分自身を成長させていく努力を惜しまない生徒

教育課程編成・実施方針～このような学びをします～

- 基礎学力の定着とキャリア教育
 - …基礎・基本的な知識・技術の確実な習得と、積極的に資格取得へ挑戦等
- 水産・海洋に関する体験的な授業、活動を通じた職業人の育成
 - …地元の食材から食品製造を学び、イカ釣り・マグロ漁業実習等を実施
- 働くことの意義や喜びを実感し、地域や社会を支えるチーム力養成
 - …2年7月には地元企業でインターンシップ実施等

生徒育成方針～このような力を伸ばします～

- 郷土愛…水産海洋産業や地域社会の、健全で持続的な発展を担い
- 向上心…自分を振り返り、高め
- 連帯感…社会を形成する一員として、周りつつながり
- 自尊心…各種資格取得や学校行事等を通じて、自分に自信を持つ

島根県立益田高等学校の「3つの方針」

I 生徒育成方針（ディプロマポリシー）

<教育目標>

主体的に物事に取り組み、様々な他者とのつながりを通して自らを高め、未来を切り拓くことのできる生徒を育てる。

<育てたい生徒像>

- ① 行動力を持ち、自己実現に向けて自立した生徒
- ② 確かな学力を持ち、探究心、想像力が豊かで、学んだことを表現できる生徒
- ③ 豊かな人間性を持ち、社会をたくましく生き抜く力を持つ生徒

<身につけさせたい資質・能力>

- ①自主性、主体性
- ②思考力、創造力
- ③課題発見・解決力
- ④社会性、協働性
- ⑤粘り強さ、逞しさ
- ⑥表現力、発信力
- ⑦マネジメント力
- ⑧自己肯定力

II 教育課程編成・実施方針（カリキュラムポリシー）

○単位制を活用し、多様な科目設定や習熟度に応じた授業展開など、個別最適な学びの環境を整えます。

○「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業を展開し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」をバランスよく育てます。

○SSH事業への取組を通して掘り起こした興味・関心・疑問を研究課題に進化させ、科学リテラシーと創造性の素地を育てます。

○身につけさせたい資質・能力やねらいを明確にした特別活動や部活動を行います。

III 生徒募集方針（アドミッションポリシー）

①～④は普通科・理数科共通，⑤は理数科のみ

- ① 社会や集団の中で自分自身と他者を大切にし、自立した生活ができる生徒
- ② 将来の在り方・生き方について考え、目標に向かって努力を継続できる生徒
- ③ 主体的かつ協動的な姿勢で学習に向かい、学力を伸ばそうとする生徒
- ④ 知的探究心を持ち、物事をよく観察して深く考えようとする生徒
- ⑤ 理科、数学及び英語に強い興味・関心を持ち、意欲的に学習する生徒

令和4年度 益田翔陽高等学校スクール・ポリシー

- 1 校訓 **創造・敬愛・誠実** 「創造性を発揮し、敬愛の心を持ち、誠実に生きる生徒を目指す」
- 2 教育目標
 - (1) 旺盛な**研究心**を持つ
 - (2) お互いの**心**を尊重しよう
 - (3) **郷土を愛する心**を持つ
- 3 教育方針
 - (1) 高い志をもち、自らの可能性を広げる力を培う **『個の確立』**
 - (2) 社会の変化に対応できる専門的知識を深め、実践力を高める **『知性の涵養』**
 - (3) 互いを尊重しあい、心豊かでたくましい人間の育成 **『敬愛の精神』**
 - (4) 明日の日本、郷土の担い手となる人材の育成 **『社会への貢献』**
- 4 目指すべき学校像
 - (1) 「**汗と感動と挑戦があふれる学校**」生徒を鍛え、地域に開かれ、家庭・地域に信頼される学校
 - (2) 「**総合的な人間力**を身につけ自立して社会貢献できる人材の育成を目指す学校」
 - ① 学ぶ力（創造） ② 自己実現力（自律・自立） ③ 郷土愛と思いやり力（敬愛）
 - ④ 社会貢献力（信頼） ⑤ 基礎的体力（健康）などをバランスよく育む学校
 - (3) 「**自立して社会貢献する**専門的職業人の育成を目指す学校」
 - ① 自らが体を積極的に動かす
 - ② ひた向きに努力することにより知識・技術を高める
 - ③ 挑戦する気持ちとあきらめない強い心をもつことができるような教育活動を提供して、生徒の可能性を引き出す学校
- 5 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）
 - (1) **県内唯一の複合型専門高校**として、各学科の特色を活かした教育課程を編成する
 - ① 各学科において、将来の職業に役立つ資格・検定にできるだけ多く挑戦させる
 - ② 各学科ならではの魅力ある選択科目を設定する
 - ③ 各学科間で連携できるような課題や時間を考慮し、本校ならではの魅力あるものを考える
 - (2) 「**益田市未来の担い手コンソーシアム**」並びに「**益田翔陽教育魅力化部会**」の活性化に努める
 - ① 益田市全体で協働的・一体的にライフキャリア教育の推進を図る
 - ② 課題探求プロジェクト等に視点をあて、地域住民・民間企業団体等の多様な主体の参画により、主体的・対話的な活動を深めていく
 - ③ 幼保・小・中学校及び公民館等の地域の方々との繋がりを大切にしながら、こども・児童・生徒にとって互いに有益な地域活動を実施しながら、魅力ある学校作りに努める
 - ④ 市内を中心に県内の企業の魅力を伝える機会を工夫し、郷土愛を育むとともに、将来の地域の専門的職業人の育成につなげていく
 - (3) 「**授業第一**」の姿勢を教職員・生徒ともに目指す
 - ① 「**翔陽スタンダード**」を徹底し、授業・実習を中心に基礎学力の養成に努める
 - ② 部活動や農業クラブ、家庭クラブとの両立を実践し、計画性のある自主した生活を目指す
- 6 求める生徒像（アドミッション・ポリシー）
 - (1) 挨拶や時間厳守等、**社会で通用するマナー**を身につけた生徒
 - (2) 自己理解を進め、他者への**思いやり**をさりげなくできる生徒
 - (3) 基礎学力の定着や専門的な知識や技能の向上を図り**進路実現にチャレンジ**する生徒
 - (4) 社会との多様な関わりを通して自分の特性を生かした**社会貢献**ができる生徒
- 7 本校入学を目指す中学生へ求める生徒像
 - (1) 志望する学科の特色を理解し、目標をもって主体的にねばり強く自分の可能性を追求できる生徒
 - (2) 部活動・生徒会活動などを通じて、幅広く自分の可能性を見出そうとする意欲のある生徒
 - (3) 基本的な生活習慣が身につき、着実な基礎学力を有する生徒
- 8 評価指標（詳細は年度初めに検討）
 - (1) 県内就職者の増を目指す
 - (2) 各学科において取得目標資格や検定等を明確にし、授業・実習を通してその習得を目指す
 - (3) 学習活動、生徒会・クラブ活動、部活動、ボランティア活動など積極的に取り組む

吉賀高等学校スクール・ポリシー

① 育成を目指す資質・能力に関する方針

(生徒育成方針、グラデュエーション・ポリシー)

- 1 自他を尊重し、他者と協働できる人間の育成
- 2 当事者意識を持ち、粘り強く挑戦する人間の育成
- 3 答のない課題を解決するために行動する人間の育成
- 4 広い視野に立ち、未来を想像・創造できる人間の育成

② 教育課程の編成及び実施に関する方針

(教育課程編成・実施方針、カリキュラム・ポリシー)

- 1 生徒の意思や判断を尊重し、対話を通してビジョンを実現する教育活動
- 2 個別最適な学びを保障する少人数指導とキャリア教育
- 3 多様な人々と協働し、未来を創るアントレプレナーシップ教育
- 4 持続可能な地域づくりを目指す環境教育と地域クラブ活動

③ 入学者の受け入れに関する方針

(生徒募集方針、アドミッション・ポリシー)

- 1 地域の様々な人と交流し、力を合わせることができる
- 2 地域の環境資源を活かした学びを基に自分と向き合う
- 3 地域の現状を知り、ふるさとの未来に向けて行動できる
- 4 地域の中で学ぶことにより、広い視野を身につける

津和野高校は、「やってみたい」を「やってみる」にする学校です。

■求める生徒像

①津和野で学びたい生徒

津和野は町全体が学びの場です。T-PLAN でつながる津和野のまち・ひと・ことをとおして、学びのきっかけをつかもうとする生徒を求めます。

②コミュニケーションを大切にする生徒

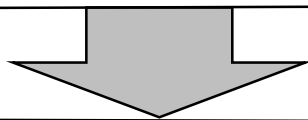
町の大人や島根県の内外から入学する友達など、多様な人との関わりをとおして、他者を受け容れようとする生徒を求めます。

③チャレンジする生徒

きめ細やかな指導や HAN-KOH で身につけた確かな基礎学力をもち、自分の課題に挑戦しようとする生徒を求めます。

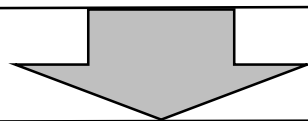
④ゴールに向かって努力する生徒

学習でも課外活動でも、仲間と協力しながら自分の目標に向かって努力する生徒を求めます。



■ツコウでの学び

- 「総合コース」では、基礎学力の定着とともに、実習や体験の機会を多く設定することで、実社会で必要とされる力を養います。
- 「探究コース」では、「総合的な探究の時間」による、地域の方々や仲間との協働的な活動を増やし、課題解決型学習に重点を置きます。
- 「自然科学コース」では、特に理系科目において少人数教育を実施することで、きめ細やかに学習を支援します。



■育てたい生徒像

(1)自ら学び行動できる生徒

学習習慣を確立することで、生涯にわたって学ぶために必要な基礎学力の定着した生徒を育てます。さらに、課題に挑戦する意欲と行動力のある生徒を育てます。

(2)他者と協働できる生徒

豊かな感性、表現力、コミュニケーション力を身につけ、仲間と協力して目標を達成しようとする生徒を育てます。

(3)多様な価値観を尊重できる生徒

価値観が多様化する時代に必要な、広い視野と寛容な心をもつ生徒を育てます。

(4)地域社会に貢献できる生徒

地域社会を住みよくするために必要な、当事者意識と行動力を備えた生徒を育てます。

島根県立隠岐高等学校 スクールポリシー

1 校訓

健 (健やかにして) 智 (智を以って) 拓 (未来を拓く)

2 学校教育目標 (目指すべき資質・能力)

『健康で、確かな学力を持ち、自立する生徒を育成する。』

3 本校の使命【スクール・ミッション】(目指すべき学校像)

- ・キャリア・デザインのための資質・能力の育成と可能性の伸長
- ・隠岐地域の課題解決と地域の発展を担うために必要となる素養の育成

4 卒業の認定に関する方針【グラデュエーション・ポリシー】(育てたい生徒像)

郷土を愛し、地域や社会の未来を切り拓く人材を育てます。

学力を育む

- ・高度で幅広い知識や技術と教養を身につけた生徒 (知識・技能)
- ・対話を通して自分の意見を明確に表現することができる生徒 (思考力・判断力・表現力)

社会力を育む

- ・隠岐地域を出発点として日本や世界の将来のために行動する生徒 (学びに向かう力)

人間力を育む

- ・優れた人権感覚と豊かな人間性を備えた生徒 (人間性)

5 教育課程の編成・実施方針【カリキュラム・ポリシー】

地域との協働と先進的な教育課程で、主体的、探究的な学びをすべての学習活動で実践します。

何を学ぶか

- ・これからの時代に必要な資質・能力を踏まえた教科の専門的な学習を行います。
- ・ビジネスの基礎を学び、専門性を追求し、商業系資格取得を目指します。(商業科)
- ・隠岐ユネスコ世界ジオパークから、地域の魅力と課題解決について学びます。
- ・特別活動や部活動に積極的に参加し、集団活動と個人の役割について学びます。

どのように学ぶか

- ・1学級30人の定員と少人数の指導により、教員が一人一人の生徒に寄り添いながら授業を行います。
- ・多様な進路希望に応じた教育課程で、選択科目の幅を広げて授業を行います。
- ・地域や社会と連携し、体験とフィールドワークによる探究的な学びを実践します。
- ・ICTを積極的に活用し、わかる授業の実践と生徒の表現活動の機会を広げます。
- ・隠岐の島町や企業、大学の支援を受けて、地域課題解決型の学習に取り組みます。

どのように育成するか

- ・各教科の専門的な学びを基礎に、教科横断的な学びの充実を図ります。
- ・探究活動の成果は、様々な機会を通して隠岐の島町や大学・企業に発信します。
- ・特別活動での学びは、「キャリア・パスポート」により振り返りとまとめを行います。
- ・高校魅力化評価システムやルーブリック等を用いたパフォーマンス評価も活用し、多様な視点で学習評価を行います。

6 入学者の受け入れに関する方針【アドミッション・ポリシー】(求める生徒像)

隠岐高校の特性を理解し、高い志を持ち、入学を強く希望する生徒を求めています。

- ・学びの意義を見だし、日常の学習に前向きに取り組むことができる生徒
- ・部活動やボランティア活動など、様々な活動にチャレンジしようとする生徒
- ・隠岐の島の環境や地域社会に関心を持ち、未来について考えることができる生徒
- ・自分を大切にし、他人を思いやり、良好な人間関係を築くことができる生徒

「グローバル人材」の育成

— グラデュエーション・ポリシー (Graduation Policy) —

- ①真理の探究に向け、協働的に粘り強く挑戦する
→すぐに答えのない課題に対しても、問いを立てながら粘り強く試行し、自他のよさや強み、つながりを活用しながら協働的に互いの資質・能力を高め合うことができる
- ②理想を追求し、自己を高め、地域社会に貢献する
→よりよい未来の実現に向けて理想や目標を高く持ちながら、目の前のことを大切に積み重ねていくことができる。身の回りの近い存在に対して貢献することができる
- ③進取の気象をもち、主体的、意欲的に行動する
→目の前に立ち現れる事象を積極的に理解しようと当事者意識を持ち、またその事象を何とかしようと現場で自らが率先して手足を動かし、泥臭く行動する
- ④心身ともに健康、情操豊かで、他人を思いやる
→自分自身の心身の健康状態や情緒を理解し、他者を思いやった上での感情表現や人間関係の構築ができる

— カリキュラム・ポリシー (Curriculum Policy) —

＜両学科共通の教育課程方針＞

学ぶ喜びを感じながら、主体的・協働的・探究的・社会的に学びを深める

- ・生徒一人一人の習熟度に応じた指導内容や授業展開
- ・到達目標（資質・能力等）を明示し、全ての生徒が基礎・基本の力を身に付ける
- ・探究と教科が往還することによって相乗効果で資質・能力を育む
- ・隠岐島前地域ならではの魅力や課題を教育資源として積極的に活用する
- ・実社会や実生活における複雑な事象を対象に、
気づく → 考える → 話し合う → 実践する(巻き込む) → 振り返る → 気づく → …
の探究サイクルを身に付ける
- ・身に付けた資質・能力を自らがつなげて思考し、グローバルな場面で実践や行動に移す

＜普通科（2年次以降）の教育課程方針＞

大学入学共通テストや私立大学入学を志す生徒を中心に、確かな学力の定着を目指す

- ・離島にいながらにして一般的な「普通科」教育課程
- ・総合的な探究の時間「夢探究」等の地域資源を活用した特色ある教科・科目が学べる環境

＜地域共創科（2年次以降）の教育課程方針＞

多様な進路を多様な形態で目指し、島前地域でしか学ぶことのできない特徴的な教育課程

- ・総合的な探究の時間や新設する学校設定科目とのスムーズな往還
- ・地域社会とのつながりを活かした学び
- ・教科・科目で身に付けた資質・能力を地域での未来共創の実践に活用

— アドミッション・ポリシー (Admission Policy) —

- ①真理の探究に向け、協働的に粘り強く挑戦しようとする生徒
→主体的に学習・課外活動に取り組む態度を有している
多様な他者を価値ある存在として尊重することができる
- ②理想を追求し、自己を高め、地域社会に貢献しようとする生徒
→前向きな姿勢で未来に夢や希望を持っている
地域に根付く文化や伝統に関心を持ち、尊重することができる
- ③進取の気象をもち、主体的、意欲的に行動しようとする生徒
→周囲を思いやりながら自主的に考え、自律的に判断し、誠実に実行することができる
自らの人生や新しい社会を切り拓こうとする希望や意志を持っている
- ④心身ともに健康、情操豊かで、他人を思いやろうとする生徒
→自他の心身の健康に興味関心を持ち、他人を思いやること
感性を豊かに働かせながら、思いや考えを基に表現することができる

教育の方向性

隠岐水産高等学校

過去経験したことのない時代を迎え 新たな指導、学校行事の構築！

我々のホームグラウンドは海

全国 46 校（しかない）水産高校！より高い差別化！

1. 教育環境の再認識！

- ①漁業（航海）、機関、食品、栽培、そして漁業専攻科、機関専攻科を設置し、大型練習船を有する学校は 20 校
- ②隠岐水教育の わくわく感！
 - 神海丸実習：日本最大の練習船による日本一周航海、ハワイ航海
 - 漁業（海洋）実習：全国随一の実習環境。隣接する実習海面で漁業やマリンスポーツ
 - 機関実習：島内唯一の機械・電気・冷凍に関する海洋工学系教育！
 - 食品加工実習：全国一の缶詰生産量
 - 栽培実習：県内唯一の栽培系コース
- ③実験・実習重視の授業時数（総時数の 10 分の 5 以上を配当：学習指導要領）
- ④地域（隠岐の島町）の支援

2. 生徒と教員そして地域がともに成長する開かれた学校（魅力化）

隠岐水産高校の教育そのものが魅力満載！

- ①地元（県内生）の生徒を大切にしつつ、島外生（県外生）を積極的に受け入れ互いに切磋琢磨する全国区の高等学校を目指す！
- ②生徒：入学してよかった！ 成長を実感できる生活（資格・部活・実習）
- 保護者：入学させてよかった！ 子どもの成長と安心感 教職員への信頼
- 教職員：勤めてよかった！ 指導力向上 生徒からの信頼 成長を支える喜び
- 地域：支援してよかった！ 学校の魅力を認識。人材育成、地域経済の活性化

3. 普通（科）ではない高校！

普通を求めている！専門的学習（知識技術）、資格取得をとおして

- ①生徒が自ら意欲的に取り組む学校生活の展開
- ②社会人として必要な資質の育成と基本的生活習慣の確立
- ③望ましい勤労観の育成と進路指導の充実
- ④人権教育、道徳教育の充実

4. プチ目標設定

身につけさせたい力を明確にしつつ、挑戦できる身近な目標を設定

- ①各種国家試験への挑戦
- ②乗船実習 カッター訓練⇒小型船舶⇒大型船舶⇒遠洋航海
- ③製造実習 月間・年間製造目標個数の設定
- ④栽培実習 季節毎の作業目標設定

5. 積極的な情報発信

見える化：学校の目標、学習などの活動実態を具体化し、学校は何を目指しているのか？生徒はどう取り組んでいるか？担当教員だけではなく、全教職員、保護者、卒業生、地域、中学生にも伝えることにより本校教育をより理解していただくよう努める。

- ①保護者・地域・教職員へ学校便り、PTA 便り
- ②科便り、コース便り、クラス通信やHPの充実
- ③行政（隠岐の島町）との連携